



# 校長室だより

黒部市立村椿小学校  
文責：校長 寺島紀子  
令和6年4月11日  
第2号

## 「全教職員がすべての子供の担任」のつもいで

去る5日（金）は始業式直後に2～6年生の担任を発表しました。また9日（火）の入学式で1年生の担任を発表しました。前号でお伝えしたとおり、すべての学年・学級が昨年とは違う担任となりましたが、その分新鮮な気持ちで1年間のスタートを切ってほしいと願っています。

<常勤の教職員は14名です>

校長	寺島紀子
教頭	松嶋隆徳
教務主任	澤田季香
1年担任	坪野裕貴
2年担任	廣瀬風花
3年担任	村田麻記子
4年担任	渡邊優菜
5年担任	山本千夏
6年担任	石井千尋
わかば級担任	寺崎健太郎
なかよし級担任	清水立
養護（保健室）	吉崎祐実子
事務	室めぐみ
校務助手	村井久留美

今年度の常勤の教職員は左のとおりです。このほかにもステイ・メイトやカール・サポート・スタッフ等、時間や曜日を決めて勤務する職員もいます。次号以降でお知らせします。

学級ごとの担任は決まっていますが、その一方で全校の子供を皆で見つめ、守り、育てていく姿勢も大切にしたいと考えます。清掃や給食等の縦割り活動も盛んなことから、職員間でも学年・学級の垣根を越えた情報交換がオープンにできるよさがあります。「全教職員がすべての子供の担任」のつもいで、目の前の子供に向き合



ったり隣り合ったりしながら、一人一人を大切にしたい教育ができればと思っています。

## 4/9(火)入学式 みんな本当に立派でした

9日（火）は待ちに待った入学式でした。天気は雨でしたが（泣…）、心配を吹き飛ばすくらいピカピカの1年生13名が入学してきました。

少し緊張したような様子も見えましたが、起立や着席の号令をしっかりと聞き分けたり、話の内容を聞いてタイミングよく返事をしたりする姿がとてもしっかりとしていました。また、2年生以上の上級生の態度も立派で、1年生を温かく迎える拍手や大きな歌声から、よい入学式にしようという意気込みがよく感じられました。

式の後の「歓迎の言葉」では、6年生の代表の子が、「分からないことや困ったことがあったら何でも聞いてください」と語りかけていました。さらにその後、翌日からの集団登校に向けて、担当の上級生がそれぞれ同じ班の1年生におしらせの紙を渡しながらかんづきをしていました。

その後、1年生の親子が教室で坪野先生の話の聞いている時間の裏で、5・6年生は会場の片付け（体育館の復元）をしてくださいました。お疲れ様でした。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！  
校長室だよりへの感想 切り取り できればお名前 or 児童名（ ）

## ★つばきっさが目指す3つのことについて話をしました

式辞では、3つの「K」のことを基に上級生にも伝わるようにと話しました（要約）。どれも基本的なことですが、丁寧に続けることで成果が出るはずだと思います。

思いやりの心をもって**みんなで助け合える子供**になるために、まず、あいさつや返事をしましょう。あいさつをすると、心が明るくなり、みんな笑顔になります。どんな人とも仲良く力を合わせることができます。

みんなでいっしょに、**よく考えるかしこい子**になりましょう。授業の始まる時間にはしっかり席に着きましょう。そして、先生のお話を耳と目と心でよく聞くことが大切です。大事なことを聞き逃さないように、話す人の顔を見て聞くようにしましょう。本もたくさん読みましょう。

心も体も強く、**元気でたくましい子**になりましょう。家では早寝・早起きをして、朝ご飯をしっかりと食べてきましょう。学校では、運動や遊びをがんばって、体を鍛えましょう。友達や上級生の名前を早く覚えて、仲良くいっしょに遊んだり、運動をしたりして、元気で、**どんなこともやりぬく子供**になってくださいね。



## シリーズ「教室におじゃまします」 4/10(水)2年 国語科の巻

この春大学を卒業したばかりの新採の廣瀬風花先生が担任です。この日は「聞くこと」の学習でした。

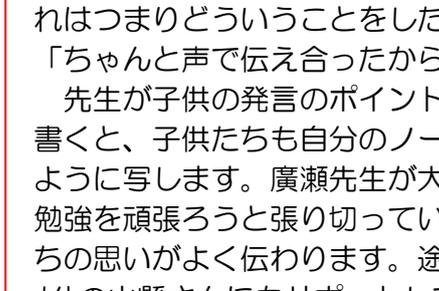
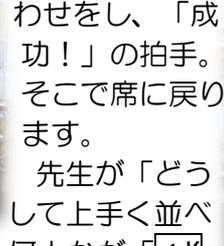
まず「誕生日の順に並ぶこと」という先生からのお題を聞き、教室の後ろでがやがやと一列に並び直します。できたとと思うところで、先生と答え合わせをし、「成功！」の拍手。そこで席に戻ります。

先生が「どうして上手く並べ

たのかな？」と問いかけると、何人かが「1K みたいに助け合ったから」「協力したから」と答えます。さらに、「それはつまりどういうことをしたの？」

「ちゃんと声で伝え合ったから…！」

先生が子供の発言のポイントを黒板に書くと、子供たちも自分のノートに同じように写します。廣瀬先生が大好きで、勉強を頑張ろうと張り切っている子供たちの思いがよく伝わります。途中、スライムの山縣さんにもサポートしてもらいながら、どの子もしっかりノートを仕上げていました。また先生が、子供が直前に体験したことを思い出しながら「話す・聞く」のポイントを自然に押さえられるようにと、手立てを工夫していることもよく感じられました。



<おまけのひとりごと> それにしても9日(火)はなかなか本格的な雨でした。入学式の式辞の定番のワードとして「暖かい春の日差しが…」などと言いたいところでしたが、とてもそれは言えないのでは?と当日の朝に頭をよぎり、急ぎょ言葉を差し替えました。「これは恵みの雨です…」といった苦し紛れの言葉でしたが、式の後、何人かの方から「なるほどと思う言葉でしたね」とのリアクションがあり、少しホッとしました。ともあれ翌10日(水)からは春らしい天気に戻ってきてよかったです。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!  
校長室だよりへの感想 切り取り できればお名前 or 児童名 ( )